

## 平成 25 年産 紀南の梅産地情報

13/03/15

1. 南高の開花は、1月下旬～2月上中旬に気温の高い日や降雨が間隔良くあり、開花始めから一気に進み、満開期は平年に比べ1週間程度早い2月6～7日となった。



満開後は、気温が下がったため、受粉状況が心配されるが、開花の遅れた遅場地域では比較的好天に恵まれた。

早場地域では、現在第一次生理落果が始まっている。

(平地標準調査地 田辺市中三栖)

品種 \ 年	平年 (H15～24)	平成 22 年	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	
小 梅	開花始め	2/6～8	2/1～3	2/8～10	2/23～24	2/2～3
	満開期	2/15～18	2/11～14	2/20～22	3/1～3	2/7～8
	開花終期	2/24～26	2/25～27	3/4～7	3/7～9	2/26～27
	開花期間	21 日	27 日	28 日	16 日	26 日
古 城	開花始め	2/15～17	2/9～11	2/21～23	2/27～28	2/7～8
	満開期	2/22～25	2/15～17	2/28～3/1	3/3～4	2/17～18
	開花終期	3/3～5	3/1～2	3/11～13	3/12～13	3/9～10
	開花期間	20 日	22 日	21 日	16 日	32 日
南 高	開花始め	2/5～7	1/31～2/2	2/8～10	2/23～24	2/2～3
	満開期	2/14～17	2/10～13	2/20～22	2/29～3/2	2/6～7
	開花終期	2/23～26	2/24～26	3/4～7	3/6～8	2/26～27
	開花期間	22 日	27 日	28 日	15 日	26 日
作 柄		開花期の天候不順、凍霜害不作	低温、長雨、生育遅れ平年作	開花期間短い低温、降雨不作	開花期間中低温で推移	

2. 1月18日の着蕾調査結果によると、1枝当たりの着蕾数は前年に比べ各品種ともに多いが、平年に比べると小梅・古城は平年並み、南高ではやや少なかった。

現時点では、順調に生育しているものとする。

基準園の着蕾数 (1枝当たりの平均着蕾数)

品種 \ 年	平成 25 年	平成 24 年	平年	前年比	平年比
小 梅	395	312	372	127%	106%
古 城	364	304	351	120%	104%
南 高	312	276	350	113%	89%

3. 今年産の作柄は、開花から収穫期までの気象変化等により大きく左右されるため、現時点で具体的な予測はできない。